

# 第14回 研究・実践成果発表会

令和3年11月10日(水)福岡市市民福祉プラザふくふくホールにて開催しました。

## ＜目的＞

当事業団では、福祉情報の発信の場として、各施設の取り組みや研究の成果、今後取り組むべき課題などの発表を行う「研究・実践成果発表会」を開催しています。各施設の情報を共有することで、職員の専門性の向上を図るとともに、事業団のネットワークを活かした更なる事業の展開へと結びつけることを目的としています。

また、対外的に情報を発信し、関係機関の方々に事業団の取り組みを知っていただくことで、福岡市の障がい福祉推進に事業団をご活用いただきたいと考えています。



## ＜概要＞

第1部は、福岡市こども未来局の岩崎氏によるご講演と、西部療育センターによる事業報告を行いました。第2部は「研究・実践成果発表」として、事前に選考された4編の論文発表を行いました。

教育・行政関係者、当事業団役職員など、事業団内外から106名の方が参加しました。また、発表会後に録画した発表会の様子を各施設で視聴できるように、動画を配信しました。

## ○発表論文の選考方法

事前の論文審査により、提出された10編の論文の中から4編を「優秀賞」として選考し、第2部の発表論文としました。

さらに、当日は発表審査を加え、その4編の中から「最優秀賞」及び「外部審査員特別賞」を各1編ずつ選考しました。論文・受賞者一覧は10頁をご覧ください。

## ○講演

新設予定の「南部療育センター（仮称）」の概要について、ご講演をいただきました。

「これからのスケジュールを知る機会となった」「今後も状況等を知る機会があると良いと思う」などの感想がありました。



## ○事業報告

保育園・幼稚園への支援について、西部療育センターから事業報告を行いました。

「保育園・幼稚園への支援や連携が大切だという事が改めて分かった」という感想が多数ありました。



## ○研究・実践成果発表

今年度は、児童期・成人期・保護者支援といった幅広い内容の発表が行われました。「専門分野以外の内容も、具体的で分かりやすく役に立った」「事業団の多職種の良さがうかがえたように思う」などの感想がありました。

発表された4編の論文のうち3編の概要は、4頁～9頁にて掲載していますので、是非ご覧ください。

